

地域への関心や意識を高める

17 学者の応援団を増やす

社会技術とは、「自然科学と人文・社会科学の複数領域の知見を統合して新たな社会システムを構築していくための技術」であり、社会を直接の対象とし、社会において現在存在しあるいは将来起きることが予想される問題の解決を目指す技術である。¹⁾ 国立研究開発法人科学技術振興機構の社会技術研究開発センターでは、研究者・関与者の連携による分野横断的な研究、また自然科学だけでなく人文・社会科学双方に渡る広い分野の知見あるいは方法に立脚した地域における実践を、方法論の構築とともに強力に進める研究開発を重視しており、本研究プロジェクトはその一つとして採択されたものである。したがって、本研究プロジェクトは、桜川市と栃木市の町並み保存市民団体、各地区の修理・修景の設計施工に携わる技術者・技能者、住民支援組織の NPO、各地区の伝建地区行政担当者、そして研究者で構成し、異なる地区の関与者と共に協働して遂行してきた。また参画した研究者の主な専門分野は、都市計画、建築耐火構造、建築耐震構造、建築木質構造、地域防災、建築デザイン、町並み保存、文化財保護、建築史、災害社会学、歴史学であり、人文・社会科学系と自然科学系の複数の研究者の協働によって課題解決に取り組んだ。このような多様な専門分野の学識者が地域の現状を知ることで、地域に対する関心や意識を高めてもらい、地域の応援団を増やすことによって多様な課題に対応できる学識者の繋がりを構築することを狙い、学会活動との連携や学識者による講演会の開催などを進めた。以下では、関東都市学会秋季大会について紹介するが、13項で紹介した日本建築学会関東支部提案競技を開催した狙いの一つには学識者の応援団を増やすこともあった。

■2013 年度関東都市学会秋期大会シンポジウム

昭和 28 年当時、都市化が進み、多様な都市問題に対応する処方箋が関係各方面から要請され、日本都市学会が創設された。そして、全国7地域の地域学会の一つとして関東都市学会も創設された。2013 年度の秋季大会を本研究プロジェクトと栃木蔵のまち小論文コンクール実行委員会が共催として名を連ね、栃木市と栃木市教育委員会の後援を得て開催した。大会の詳細については文献2)に詳述されているが、その中から浦野正樹氏の解題を引用して概要を紹介する。この秋季大会では、「栃木市の伝統の再発掘と地域活性化」をテーマとして掲げたが、それはまちの現在の課題と町並み保全のあり方、今後のまちの将来を、市民を巻き込むかたちで考え展望を探っていくことにしたいと思ったからである。

シンポジウムは、第一部として地元高校生によるポスターセッションを行い、地元高校生の将来のまちづくりに寄せた思いをポスターにしたものを会場に展示して、会員や父兄に見てもらった。そのうえで、第2部のパネルディスカッションでは、基調講演として河東義之氏、報告者として黒田英一、佐山正樹、苅谷勇雅の3氏、コメンテーターとして井上繁(関東都市学会会長/常磐大学教授)、川副早央里(いわき明星大学客員研究員/早稲田大学大学院)の両氏に登壇いただいている。なお、コーディネーター及び司会は浦野正樹(早稲田大学教授)、豊川斎赫(小山工業高等専門学校准教授)が務めた。シンポジウムの内容は、栃木市の現状や抱えている課題、市街地発展の歴史や経済的バックグラウンド、市民の気質や社会構造、若者の意識や現状と地域の将来像など多岐にわたるが、浦野は文献2)の中で共通する論点として主に4つを挙げている。その論点を検討する中で出てきたキーワードは、巴波川、歌麿、近世文化人の交流、蔵の街、自由民権運動、東北本線の栃木への誘致

運動、地域ルネッサンス、細長い区画割り(奥が長く倉庫や物置などの人目が入らないスペース)、スペースの管理と景観、空き家対策、延焼火災の危険、水害の歴史、住み続けられるまちなどであった。シンポジウムを通じて、あらためて栃木市はまだまだよいものをたくさん持っており、それらをうまく生かしてビジネスチャンスに繋げていくような創造性とそれを担う人材や集团的取り組みが課題であることがあらためて確認されたといえよう。

シンポジウムテーマ: 栃木市の伝統の再発掘と地域活性化、会場: 栃木市役所正庁

第1部 地元高校生によるポスターセッション、意見交換

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 浦野正樹(早稲田大学教授)、豊川斎赫(小山高専准教授)

基調講演 河東義之(小山工業高等専門学校名誉教授)

「栃木・嘉右衛門地区伝建地区指定までの道のり」

報告者① 黒田英一(法政大学大学院政策創造研究科客員教授)

「栃木市の産業や社会構造について」

報告者② 佐山正樹(ネットワークとちぎ)

「民間の方で地域の活性化や将来に向けた活動について」

報告者③ 苅谷勇雅(小山工業高等専門学校校長、元文化庁文化財鑑査官)

「伝統的町並み保存と地域活性化問題について」

コメンテータ(関東都市学会・井上繁会長、川副早央里(早稲田大学))

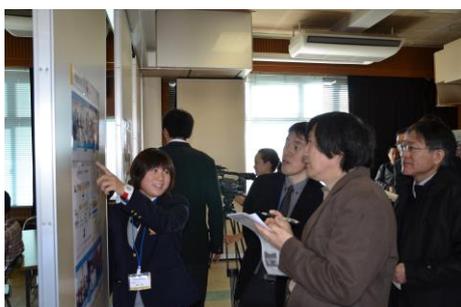


写真1 ポスターセッションの様子



写真2 黒田英一氏による報告



写真3 パネルディスカッションの様子

参考文献

- 1) 国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター パンフレット、p.4、2015年
- 2) 関東都市学会年報 第16号、2015年3月